

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法(専門)b		選択	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
尾曲 あゆみ	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>本科目では学生が、社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発ソーシャルアクションについて理解し、個別の事例を通じてその分析の意義や方法を学び、社会福祉士としてより実践的なソーシャルワークの方法について理解することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心にソーシャルワークに関連する実践方法やカンファレンスの意義や目的、事例の分析方法等を学ぶとともに、様々な場面におけるソーシャルワークについて解説する。個別の事例を通じてグループワークやディスカッションを行うことで、より実践的なソーシャルワークの技術と知識を持てることを目指す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他()				
学習上の助言	教科書や配布資料等を参考に授業外での学習時間を使って文献等を調べるなど、授業外での学習も行うこと。特に用語については、基本的知識として自主的に理解を進めることが必須である。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目				関連卒業認定・学位授与方針	
①	イベントシステムの充足を図るために活用できるものとして社会資源を理解し、その種類と内容を説明することができる。			HSU(2)(3)(6)、WP(1)(2)(5)	
②	様々な種類の会議と方法、目的に応じた会議参加者や方法があることを理解し、共通する方法や会議の留意点について説明することができる。			HSU(2)(4)、WP(3)(6)	
③	事例分析、事例検討、事例研究の目的と意義を理解し説明することができる。			HSU(2)(3)(6)、WP(3)(5)(6)	
④	様々な局面におけるソーシャルワークの技術や技法について理解し、支援の目的、方法について説明することができる。			HSU(1)(2)(3)、WP(3)(4)(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(講義概要・講義の進め方・評価方法等) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発を学ぶ	講義 グループワーク	シラバスを精読する。 第4章第1~3節を精読する。	4	
2	カンファレンス 会議の種類と方法/ミクロ・メゾ・マクロの会議について学ぶ①	講義 グループワーク	第5章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
3	カンファレンス 会議の種類と方法/ミクロ・メゾ・マクロの会議について学ぶ②	講義 ディスカッション	第5章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
4	事例分析、事例検討、事例研究 事例分析について学ぶ①	講義 グループワーク	第6章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
5	事例分析、事例検討、事例研究 事例分析について学ぶ②	講義 グループワーク	第6章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
6	事例分析、事例検討、事例研究 事例検討について学ぶ①	講義 グループワーク	第6章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
7	事例分析、事例検討、事例研究 事例検討について学ぶ②	講義 グループワーク	第6章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
8	事例分析、事例検討、事例研究 事例研究について学ぶ①	講義 グループワーク	第6章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
9	事例分析、事例検討、事例研究 事例研究について学ぶ②	講義 ディスカッション	第6章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
10	ソーシャルワークに関連する技法 ネゴシエーションについて学ぶ	講義 グループワーク	第7章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
11	ソーシャルワークに関連する技法 コンフリクト・レゾリューションについて学ぶ	講義 グループワーク	第7章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
12	ソーシャルワークに関連する技法 ファシリテーションについて学ぶ	講義 グループワーク	第7章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
13	ソーシャルワークに関連する技法 プレゼンテーションについて学ぶ①	講義 グループワーク	第7章第4節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
14	ソーシャルワークに関連する技法 プレゼンテーションについて学ぶ②	講義 ディスカッション	第7章第4節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
15	ソーシャルワークに関連する技法 ソーシャルマーケティングについて学ぶ	講義 グループワーク	第7章第5節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	0	0	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	学期末に試験を実施して、科目内容の理解を評価する。 試験範囲は講義で用いた教科書、配布資料から出題するので、予習復習を行い理解度を深め、知識の定着を図ること。 試験形式(筆記試験) 問題形式(選択式、記述式)					Microsoft Teams にて解答例を提示する
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	グループワークを行い、取組みの姿勢について評価する。 また毎回授業終了時にリアクションペーパーを提出してもらう。授業の理解度や学習意欲等を確認し評価する。					授業中及び講義の最後に総評を行う
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験	社会福祉士として4年の実務経験。							
実践的授業の内容	シラバスの内容に沿って、教科書を中心に講義とグループワークを行う。教員がソーシャルワーク実践の中で得た知見を交えて科目内容を、できるだけ分かりやすく学ぶことができるように学習を進める。							
そ の 他	【履修上の条件】 社会福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。 【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがありえる。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。							